

JR二島・貨物経営自立実現PT 第2回会合

2月27日、「JR二島・貨物経営自立実現PT」第2回会合を開催し、貨物鉄産労から大杉委員長が出席しました。

冒頭、泉健太衆議院議員（JR連合国会議員懇談会副会長）が挨拶に立ち、新型コロナウイルスの感染拡大による交通事業者に対するさまざまな影響とその対策の難しさについて触れた後、「日本の物流を支えるJR貨物はさまざまな制約を抱えているが、いかに活用していくかを考えなければならぬ」と所信を述べられました。

続いて、荻山会長は本PTの趣旨として「労働組合がなぜこうした取り組みを進めるのか。離職が相次いでおり、人材をいかにして確保していくかが課題となっている。将来に希望の持てる持続性のある会社にする必要がある」とし、「そのための支援、そしてめざすべき姿を働く者が示していかなければならない」と力強く語りました。

JR貨物からは将来的なビジョンとして今後の経営方針や課題について説明があり、参加議員らとともに、JR貨物の



さまざまな課題等について会社の考え方などを聞き取り、理解を深めました。とりわけ、会社からは、北海道地域にまつわる課題については「①青函共用走行区間、②単独維持困難線区、③並行在来線の3点」との認識が示され、③については「今後のあり方について、貨物鉄道ネットワークの観点から議論が欠かせない」と発言しました。

旅客会社において、重大労災が発生

JR東海・東海道新幹線小田原～熱海間で協力会社作業員が墜落死亡事故

【死亡者】

作業員49歳 協力会社（双葉鉄道工業2次下請）

【発生時刻】

3月6日 0時07分頃

【発生場所】

77.8キロ「小田原～熱海間小峰トンネル大阪方坑口」付近

【状況】
トンネル坑口上部のり面の土のすきとり作業の準備のため、トンネル坑口上部を移動中、高さ12～3mの切り通しから転落、落下。

心肺停止で救急搬送されたが、2時00分頃、死亡が確認

（詳細）

小峰トンネル大阪方坑口（進行方向左側）の、草刈り作業を行うためにトンネル上部の防護柵入口より、防護柵の線路側通路（幅1.5m）を歩行中によろけてしまい、斜面（角度度40°、3.1m）を転げ落ち、トンネル下（高さ12～13m）の線路位置（下り線海側のコンクリート）まで落下してしまつた。なお安全帯は着用していたが、歩行時には使用していなかった。トンネル上部には転落防止柵の設置は無かった。

※今年度（昨年）のJR連合大会以降）3件目の死亡労災となります。業務においては安全最優先でお願いします。

・新型コロナウイルス感染拡大の収束見通しが、未だに全く見えない状況となっており、会社も様々な対策を講じています。
自分が出来る感染予防対策を率先し、感染予防に努めてください。

・3月14日、ダイヤ改正となりました。思い込みによる作業は決して行わず、作業内容をしっかりと確認してください。
特に、3H（初めて・変更・久しぶり）の作業には十分注意して作業を行ってください。

・2020年度私傷病共済加入者募集について
各地区本部は、加入の働きかけをよろしくお願いいたします。

・2020春闘 最終回答
ベア2000円実施（3年連続ベア実施）。諸要求については別途。
詳しくは業務速報を参照してください。

・4月1日から、評価者による評価が始まります。
始めてとの事で不安がありますが、聞きたいことがあれば本部までお願いします。

人災にも天災にも、 いっさい負けない家族。

地震や台風などの自然災害も保障する火災共済、
地震や風水害から建物や家財を守る地震風水害共済…。
かけがえのない家族・家・家財などを保障します。



家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

契約引受団体：明治安田生命保険相互会社

みんなで暮らしをガード
交運共済
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合